



2020年9月28日

各 位

会 社 名 株式会社アイ・ピー・エス  
銘 柄 名 株式会社 I P S  
代表者名 代表取締役 宮下 幸治  
(コード番号:4390 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役事業企画本部長 前田 知之  
(TEL. 03-3549-7719)

## 2021年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の動向等を踏まえ、2020年5月15日に公表しました2021年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2021年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 5,150	百万円 1,150	百万円 1,100	百万円 750	円 銭 60.65
今回発表予想（B）	3,400	580	490	335	27.09
増減額（B－A）	△1,750	△570	△610	△415	—
増減率（％）	△34.0	△49.6	△55.5	△55.3	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2020年3月期第2四半期）	3,161	546	495	316	25.80

#### 2. 修正の理由

2021年3月期第2四半期連結累計期間における事業活動は、概ね計画通り進捗しておりますが、第2四半期より提供開始を予定しておりました、海底ケーブルシステムC2Cによる国際通信回線について、新型コロナウイルス感染症の蔓延による物流や人の移動の制限などの影響を受け、開通時期が想定以上に遅延しております。そのためマニラー香港間は開通し、国際通信回線の提供を開始した一方で、マニラーシンガポール間においては調整に時間が掛かっており、結果として両区間を一括して提供することが求められている顧客に対する引き渡し時期が、2020年10月となることが判明いたしました。これにより第2四半期に予定していた国際通信回線の提供による売上・利益の計上は、第3四半期となりますので、第2四半期連結累計期間の業績予想について、修正するものであります。

なお、今回延期となりました C2C による国際通信回線の売上計上が完了しましたら、改めて公表いたします。

また、通期の業績につきましては、当該国際通信回線の提供による売上・利益の計上が第 3 四半期に行える見込みであることから、通期業績予想の数値については据え置くことといたします。

今後、業績予想の修正が必要となる場合には、速やかに公表いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合がございます。

以 上